



いずみ  
泉はどこからわいてくるの

ど がんせき そう うえ ちかすい  
ねん土や岩石の層の上に、地下水がたまる

あめ ふ ぶ あまみず いちぶ じょうはつ いちぶ ちか のこ じめん なが  
雨が降ると、降った雨水の一部は蒸発し、一部は地下にしみこみ、残りは地面を流れて  
いきます。

ちか ちかすい ちかすい ちかすい  
地下にしみこんだ雨水は、地中を湿らせたり、植物の根に水をあたえたりしますが、ほ  
とんどは、地層の中へとしみこんでいき、水を通しにくいねん土や、岩石の層の上にとまり  
ます。これを、地下水といいます。

ちそう さかいめ がんせき わめ  
地層の境目や、岩石の割れ目から

ど がんせき そう ちかすい なが  
ねん土や岩石の層が、かたむいていると、そのかたむきにそって、地下水は流れていきま  
す。地下水が地層の境目や、岩石の割れ目などから、自然にわき出ているときがあります。  
これを、泉といいます。

いずみ  
泉は、おかのしゃめんや谷間、がけの下やがけのとちゅうなど、いろいろな所からわき出  
ています。また、泉の水が直接、湖や川の中にわき出たり、海の底にわき出ている  
ところ  
所もあります。（監修・国司・真）

泉がわき出る所

